

活動報告書

報告日付:2019年3月31日

事業ID:2017460891

事業名:埼玉県和光市における第三の
居場所の運営(1年目)

団体名:社会福祉法人エイドセンター

事業完了日:2019年3月31日

1.事業内容

第三の居場所の整備

(1)期間:2018年9月～2019年3月

(2)場所:埼玉県和光市

(3)内容:貧困断絶を目的とし、その環境にあるこどもを対象に、家でも学校でもない第三の居場所を用意し、適切な生活習慣の支援と学習の支援を行なう。生活習慣の支援は、良質な手作りの食事の提供を中心に、基本的な生活習慣を思考的傾向による文化形成の素構築と捉え、生活の一部を共に過ごしながら、これを行なう。学習の支援は、学校教育の習慣化を図る。その他、情操支援としてモンテッソーリ教育をベースにした美的・肉体的・道徳的感性教育の機会を提供する。

2.事業内容詳細:

- ・開所 平日:小学校放課後～20時 土曜日:8:00～20:00
休校日:8:00～20:00
- ・送迎 対象児童の在籍に迎えのみ実施
- ・対象児童 1～3年生
- ・生活支援 平日:完全手作りおやつ・夕食
休校日:完全手作りのおやつ・昼食・夕食
- ・学習支援 宿題仕上げの習慣化指導
情操教育プログラム(開始3月～将棋教室、科学教室、音楽教室等)
- ・家庭支援 個人面談(今期1回実施)

3.契約時事業目標の達成状況:

【助成契約書記載の目標】

1. 拠点利用児童の募集
2. 児童への居場所
3. 児童への読み聞かせ
4. 学習支援
5. 食事の提供
6. 保護者、地域、行政との関係構築
7. 全国展開に耐える事業モデルの構築

【目標の達成状況】

1の達成状況

⇒行政が地域包括支援センターと連携し児童集めを行なっている

2の達成状況

⇒第三の居場所となるよう、家庭のような雰囲気大切に、子どもが安らげる場所を設定できている

3の達成状況

⇒グラントオープン間もない現在、読み聞かせの習慣化を図っている

4の達成状況

⇒学校で出された宿題を拠点で完了させるよう、一人ひとりとその日の心身の状態を把握し、主体的に取り組めるよう、学習の習慣化を支援している。また休校日は、持参した学習課題(ドリル)を行なっている

5の達成状況

⇒毎日栄養士が手作りのおやつ、夕食を作り、子どもたちに提供している

6の達成状況

⇒利用保護者には都度に丁寧な児童の日常報告を行なうことで、十分な信頼関係を構築できている。またこの他に、毎月の「お便り」で児童の様子を伝えている。更にICTシステムを活用し、簡易に多くのコミュニケーションを図れるようにしている。行政とは、日頃より入所児童についての相談・報告などの応答・連絡をスムーズに行なっている。また、地域包括支援センターとの連携も良好に行なっている。入所家庭(児童)についてのケース会議も実施(行政、支援センター、拠点)

図1. 部屋写真、ICTシステム



図2. 農家の方からの野菜提供

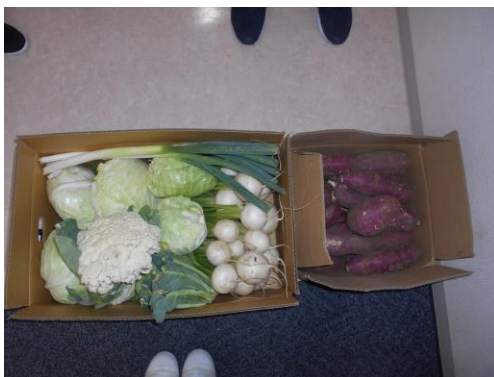


図2. モンテ教具

